

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。
ジャンルの目標	学びや触れ合いの中で、お互いの成長を喜び、気軽に子育てや生活課題を相談し合える仲間づくりを推進し、安心して子育てができる、地域ぐるみの子育て支援コミュニティの形成に寄与することを目標とする。

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	2・3歳児親子 子育て教室	楽しい親子での遊びや、講師からの指導により、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて考える機会とする。
②	楽しく家庭教育講座	地元陶芸家の指導により、保護者対象に陶芸体験を実施。子供向けデザインの陶器を作るなど思いのあふれた講座となった。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	家庭を取り巻く、社会や地域の環境が大きく変化する中、的確に子育てのニーズを捉えて内容のある事業を継続して実施していく必要がある。	
改善	次年度への課題と展望策	A	A:事業拡大。 D:目的達成により終了。 B:現状規模での継続。 E:統合・改善・その他 C:事業縮小。 ()

総合評価	
A	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。
	成果 ・参加対象を地区外に拡大し、前年度より参加者を増加させている。 ・地域子育ての会との協働は2年目となり、協力連携が図られている。 ・参加者相互を交流が図られ、地域の学習にもつながった。
	課題 ・少子化、過疎化が顕著に進む地域状況の中、継続的な子育て・学び・交流の場の提供に努める必要がある。

ジャンル	家庭教育
事例発表の事業	楽しく家庭教育講座

★公民館運営審議委員意見

委員①	★ジャンルについて ・住民のニーズに合った適正な事業であると考えます。
総合評価	B ★事例発表の事業について ・特になし

委員②	★ジャンルについて ・目標に対する取り組みとしては良いと考えます。参加者の減少は現代的な課題であると思いますが、公民館が事業を継続することで地域のコミュニティが保たれていることもあるので、多くの参加者を集める工夫をしながら継続出来ると良いと思います。
総合評価	B ★事例発表の事業について ・和田の人材活用した家庭教育学級との共催事業により交流の輪が広がり地域の良さを発見できたようです。ただ「家庭教育講座」の趣旨を実現するためには、講座選択は苦勞があると思いますが検討の余地があると考えます。稜線

委員③	★ジャンルについて ・人口の少ない地域での企画は大変であると考えます。学校、幼稚園でやっている家庭教育学級とコラボしているのは良いアイデアであるがそこに独自性(内容的に)を加えた用がよい。
総合評価	B ★事例発表の事業について ・興味関心のあるものとなると、講師も含めてこの辺の内容になるであろう。

委員④		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化がすすむ中、楽しみ交流をするだけでなく学びの場をとり入れられている。運動でのスキンシップは心と身体に良い影響を与えるので今後も是非継続してほしい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の希望に答えて家庭教育学級に取り組んでいることによりバランスのとれた事業となっている。小学校中学年以上でも対応できそうな内容なので是非他学年にも広げていただきたい。
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化、少子化の進む和田地区では子育てのための情報交換、仲間づくりの場の提供は大事な使命で、事業回数がもっと多くてもよいのではないかとと思う。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接子供達を扱うだけでなく親たちが交流し知り合うことも大事だと考えるので、親たちの要望を聞き指導者に地域人を招き、創作活動を取り入れている・など配慮を感じた。 ・内容として家庭や学校の環境づくりに役立つことを取り上げることも考えてみては…と思った。
総合評価	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数の減少に伴い、近隣の保護者間に相談相手が少なくなりつつある。日頃の悩み解決のための情報はネットやその他、様々な媒体を通じて入手できる環境にあるが、公民館事業を通じ日常生活の延長線上にある隣人同士の交流機会の提供は重要と考えられる。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て教室」で、弥富公民館との合同事業が報告されたが、農村という地域性、また小学校を取り巻く共通の課題を抱える弥富公民館との協力体制を強化し、他の事業においても積極的に連携しつらうかがか。少ない職員体制を相互補完する観点からも、より質の高い事業内容の実現に期待したい。
総合評価	B	

委員⑧		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 「2・3歳児親子 子育て教室」 和田地区も年々少子化の傾向にある中、地域子育ての会との協働の基、連携が図られており、弥富地区にも拡大し前年度より参加者が増大している。将来の南部中学校生を見込み、根郷地区を含めての合同実施は如何か一考を要し事業の拡大に期待します。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「家庭教育講座」 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家庭のあり方等を学習するにあたり、一つの事業の完成に向け幼稚園・小学生の保護者が一体となり目標に進むことは多種の面から効果が見受けられた。今後は地域拡大をし事業の展開を望みます。
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化が進み、少子化が深刻な和田地区において、公民館が家庭教育支援拠点としての機能を発揮することは、極めて重要なことと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田幼稚園・小学校の保護者が地元講師による陶芸体験やステンドグラスづくりを通じて、意思疎通を図っていくことは、子育て支援と地域連帯の強化につながると思います。
総合評価	A	

委員⑩		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの子育て支援の環境づくりが積極的に行われていることは素晴らしい。 特に、保護者同志が育児などについて、情報交換や相談が行える場の提供は、保護者の足を公民館に向けさせるきっかけにもなる。さらなる事業内容の充実を図りながら、継続していただきたい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座で実施される工芸体験は、保護者間の生活相談や子育てについての意見交換などで、コミュニケーションを醸成するための一助になっていると考えられる。 参加者を増やす工夫を考えながら継続してください。
総合評価	A	

委員⑪		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3歳児親子子育て教室は受講対象者が少なく限られた地域の中で保護者どうしの交流の場を提供する事業とし大変有意義な企画であると思います。 この企画は絵本の読み聞かせや手遊びを通じ親子関係を育むことの重要性を認識することが出来ます。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸体験やステンドグラス工芸体験は地元の人や団体が講師となっている事で地域の結びつきが強くなっています。 他の地域の参加者も増やして相互の交流促進を進めて欲しいと思います。
総合評価	A	

委員⑫		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2、3歳児親子子育て教室。楽しく家庭教育講座。よろしい企画です。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座……子どもがよりよく育つために家庭の役割や家庭の在り方を学習。素晴らしい企画です。
総合評価	B	

委員⑬		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①、②とも幼稚園等の施設が少ない昨今、幼い頃の人との出会いにより、ふれあい等学ぶこと多く、継続することを望みます。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンドグラス、陶芸の実施はモノづくりによる達成感があるので、各1回の実施ではなく、2日間くらいの実施の方が体験したという実感が残るのではないかと思います。
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的小さな地域での事業で、情報交換、仲間づくりは大変な面はあるも、他地域との交流が課題だと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域ではあるが、他地域との交流をはかり、事業内容にも工夫が必要ではないか。
総合評価	B	

委員⑮		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育講座が、少子化の進んだ和田地区に於いて取り上げられた背景が今一つ見えませんが、家庭教育の役割や家族の在り方を学習する機会重要であると思います。 ○地域全体で子どもを育てる意識が育ったならばよいと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・小学校の家庭教育学級との連携で、公民館と共催の陶芸体験やステンドグラス作りなどの実際に作品ができる取り組みを通して、参加者が和田地区の良さを発見し、それを子どもたちに伝えていくことで、郷土愛が高められたということは素晴らしいことです。 △人口が少ないので仕方ないが、参加者をもっと増やしたい。
総合評価	A	